

育児院だより

2022年3月15日

第77号



発行：社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

発行責任者：柴山英士 編集：埼玉育児院広報委員会

Tel 049-231-2107

Fax 049-231-2111

お世話になりました

施設長 柴山英士

「出逢いはいつでも偶然の風の中・・・」さだまさしの【天までとどけ】の始まりの歌詞です。縁あって足掛け 11 年の歳月を、この埼玉育児院で勤めさせていただきました。この 3 月末をもって育児院との職務上の縛りから離れることになりました。振り返れば、多くの方々の不思議な縁の連なりで埼玉育児院と出逢い、実に多くの子どもたちと大人達に出逢いました。出逢ったすべての人に恵まれていたことに、ただただ感謝しかありません。

去るにあたって心に去来するのは、6 年前の「育児院だより」の巻頭言に書かせていただいた『私の仕事～何しにきたの？～』に「何のためにこの仕事をしているのか」という明確な目標(理念)が常に自分の中に核心的にあること、そのために日々自分の持てる力を最大限に発揮すること。この思いを職員たちに伝え、その道標となることが私の仕事だ。」と。果たしてどうだったのだろうかという思いです。至らない私を最後まで支えてくださった職員の皆さん、いつでも温かく支援を惜しまず見守ってくださった後援会の皆さん、そして地域の皆様、関わりのあったすべての皆様がいたからこそこの 11 年間でした。本当にありがとうございました。すべての皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

施設長就任にあたって

統括主任 藤井美憲

埼玉育児院は、令和 4 年 10 月に創立から 110 周年を迎えます。節目となる年です。

私は、昨年の 6 月に柴山施設長のお誘いもあり、統括主任として就任しました。この間に育児院のこれまでの歴史を辿り、現在までの道のりに思いを寄せて仕事に取り組んできました。埼玉育児院での仕事が始まり、子ども達や職員の皆さんとの新たな出会いがありました。時折、私を見かけて「あ、藤井さん！」と声をかけてくれる子どももいます。そんな瞬間が、私はたまらなく愛しくて、気持ちも癒されるひと時になっています。職員の皆さんも、真面目で優しく、熱心に子ども達の養育に向き合っている姿を見てきました。埼玉育児院で働けることが、今の私の喜びです。新たなこの環境に感謝しています。

3 月末で柴山施設長が退任し、私がおの後任となりました。子ども達と、そして職員の皆さんと新しい時期に向かっていると思います。私は、まだまだ不慣れで知らないことも多いと思いますが、育児院にかかわる多くの方々と出逢いつつ、皆様のご支援とご協力を頂きながら歩んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



こどもの声

この春、5名の児童が育児院から巣立ちます。育児院で生活した期間は、長かったり短かったり、楽しかったり、辛かったり、どんなことを想って過ごしていたのかな…と聞いてみました。

育児院ではどれくらいの期間を過ごしましたか？

楽しかったことは？

しょくいんとおしゃべり
できたこと

嫌だった・つらかったことは？

ケンカして泣いてめんどう
くさったこと

卒院後は？

職についてちゃんと
生活をおちついてます

育児院ではどれくらいの期間を過ごしましたか？

5年半くらいです。

楽しかったことは？

レク!! 皆で色んなところへ
行ったこと!!

嫌だった・つらかったことは？

フロアでたしさんの楽しい
行事がなかったこと!!

卒院後は？

子どもに関わる仕事に
就きたいので保育士の資格
取得する短大を目指します

育児院ではどれくらいの期間を
過ごしましたか？

5年以上

楽しかったことは？

一人であること

嫌だった・つらかったことは？

家で打たれる

卒院後は？

働く

育児院ではどれくらいの期間を
過ごしましたか？

約12年

楽しかったことは？

全て楽しめた、

嫌だった・つらかったことは？

全て楽しめた、

卒院後は？

長野の専門学校

育児院ではどれくらいの期間を
過ごしましたか？

2年間

楽しかったことは？

無い

スキーやキャンプ

嫌だった・つらかったことは？

無い

都立どうもくいゆがた
にイトシながラジカ
が

卒院後は？

ゲーム

つらかった
せんもん学校に通
います。

本当は
16年

今年は初めて進学数が就職数を上回りました。将来の選択肢が確実に増えていると実感します。いつまでも、応援しています。遊びに来てね。



埼玉育児院
職員チーム紹介
第11回(終)

Dブロック

りんごの家 コスモス壺の家

育児院は全児童を全職員で支援する大きな一つのチームですが、お家やそれぞれの部署単位の小さな職員チームで構成しています。

名前：齋藤

【どんな気持ちで働いていますか】

子どもたちと一緒に生活する中で成長を見守り、支えていきたいと思っています。

【今後のチームについて】

目標に向かって一致団結し、達成をともに喜びあえるチームにしたいです。

【特技は？】

走ること 何でも全力で楽しめる事

名前：松本

【どんな気持ちで働いていますか】

子どもたちと楽しい1日にできるといいな、子どもとたくさん関わって話ができるように、と思いながら生活に入っています。

【今後のチームについて】

職員で団結し、子どもの安全安心を守るブロックにしていきたいと思っています。

【特技は？】

料理？裁縫？です！



名前：原

【どんな気持ちで働いていますか】

日々、子どもとのコミュニケーションを大切にしています。子どもの小さな変化に対して「見ているよ」を意識した声かけを心がけています。

【今後のチームについて】

チームワークの強化とチーム全体の意識の底上げをしていきたいと思っています。

【特技は？】

(特技になるのかわかりませんが)整理整頓です。

名前：畝本

【どんな気持ちで働いていますか】

子どもと生活をともにし、一緒に成長していきたいと思っています。

【今後のチームについて】

職員同士、切磋琢磨しつつ、子どもにとっての最善を考えていけるチームにしたいと思っています。

【特技は？】

バレーボールです。

◎Dブロックは一言で表すと“SMAP”です。各職員個性も違い、一人ひとりカラーがあります。今まではバラバラだった想いも、様々な研修を通し、みんなで協力しチーム力向上に努めています。チーム全員で子どもの生活をみていくという土台が出来つつあると思っています。チーム内での助け合い、自分が休みの時のことも考えて事前準備をしたりしています。なので、今は本物のSMAPになっています(笑)今年度力を入れているのは、子どもたちの誕生日に、食べたいもののリクエストを聞いて、職員が手作りしていることです。「あなたは大切な存在だよ」というメッセージを込めながら一生懸命作っています。子どもたちからの「おいしい!」という言葉が何よりも力になっています。

Dブロック主任：川鍋武志





激励会



感染対策のため屋外短縮バージョンで実施しました。近年は対象の卒院する児童が忙しかったり、恥ずかしかったりして参加しないことが増えおり、検討課題でもあります。

そんな中、今年参加してくれた唯一の卒院生からの素敵なスピーチをそのままご紹介します。



激励会の一言

この度はこのような会を開いて頂き、時間を割いて集まってくれてありがとうございます。

私は人前に立つて話すことが苦手ですが、育見院の皆や職員さんに感謝の気持ちを伝えられたので参加しました。

最初に感謝を伝えたいのは職員さん達です。私の話を最後まで聞いてくれて、沢山アドバイスをしてくれて言葉では表しきれないくらいに感謝しています。また、時々しか聞かれることが無い職員さんも声をかけてくれてすごく嬉しかったです。今の私があられるのは職員さん達のおかげだと思っています。

次に感謝を伝えたいのは、毎日美味しいご飯を作ってくれた食堂さん達です。疲れていても悲しい気持ちの時でも美味しいご飯を食べたら気分がなりました。いつも美味しいご飯を作ってくれて本当にありがとうございます。(また、さいとうさんや松ちゃんも沢山の話を聞いてくれて良かったです。)

最後に感謝を伝えたいのは、沢山遊んでくれた皆さん。中学生の時は毎日のように育見院のみんなと遊んでいました。すごく楽しかったです。高校生になってからは遊ぶこともほとんど無くなってしまったけど、今でも思い出が「ちゃん!」と話しかけてくれた思い出、いい思い出になっています。沢山遊んでくれてありがとうございました。

終わりに、私はここで気づいた皆さんの素敵な人達に出会い、皆さんの良い影響を受けました。4月からは、成人年齢が及わり大人の仲間入りです。ここで受けた良い影響や皆さんの支えを胸に、素敵な大人になって戻っていきたく思います。

今まで本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願ひします。

以上です。

広報に掲載することも快く了解してくれました。感謝

いつもありがとうございます

12/1~2/28

※コロナ禍におきまして、感染防止などの観点から大変恐縮ながら、ご寄付・ボランティアを多数お断りさせていただきました。

《寄付者》有限会社アイワプランニング、神崎博之、高橋一枝、喫茶 Mon、元山猛、テイシン警備(株)、医療法人愛和会 愛和病院理事長上里忠司、辻保、日本児童養護施設財団、霞ヶ関カンツリー倶楽部、日本スタンゲ株式会社、(株)星川産業川越営業所、日本キリスト教団川越協会、川野直紀、倉野謙二、まいまい、皆川武夫、関本賢、中俣一夫、森田和治、一般財団法人ミツタカ、日本鏡餅組合、明治安田生命川越営業部、株式会社毎日新聞社総務部、イーリヤ・ブランカ、NPO 法人 YouMeWe、藤倉登美子、株式会社ヤマショウフーズ、子どもの未来を育てる会竹井博康、株式会社チュチュアンナ1%クラブ、齋藤明、矢作隆、毎日新聞東京社会事業団、幹月、三井住友海上埼玉支店、鈴廣かまぼこ(株)、川越笠幡郵便局、長谷川裕、藤山昌宏、鈴木宏昭、川野直紀、タイガーマスク、NPO 法人 CAP センター JAPAN、HottoMotto、株式会社ゴルフ・ドウ、山田しの、全国あんしん探偵業協会埼玉支部一般社団法人さいたま調査業協会、パイオニア労働組合川越支部、有限会社カワサキ、門司一徹、一般社団法人埼玉県茶業協会、Doing、ヤクルトグループ、内海哲也ランドセル基金実行委員会、みらいの森、一般財団法人日本出版クラブ、日本出版販売株式会社、埼玉県書店商業組合、川越のおばあちゃん、日本児童図書出版協会、三井住友海上、梅澤幸子、三菱 UFJ 銀行、ACT TheFamily、カーブス、高星清、匿名他多数

《学習ボランティア》小室敏夫、神山裕一
《花植え・除草・広報発送作業》育見院サポートクラブ
《来訪イベント》スケート教室：森田和治

順不同・敬省略

編集後記

柴山施設長の退任によせて。当初は臨時的だったはずが、なんだかんだ気付けばもう6年もの間、施設長として私たちを支えてくださいました。無事、後任には申し分のない藤井さんが就任され、安心して6年越しのセカンドライフを過ごしてもらえることに職員一同ホッとしています。本当にありがとうございました。送別会も開催できず、コロナがいっそう憎い春です。 広報委員